



赤沢自然休養林 木曾ヒノキ見学

実施日

平成24年7月30日（月）

場 所

長野県木曾郡上松町

赤沢自然休養林

対 象

環境科学科 2年生

木曽森林管理署

上松土場の見学



木曽森林管理署の方に木材土場についての説明をその後、良質木材の見分け方について学んだ。

木曾森林管理署 上松木材土場の見学



◎平成23年度販売実績

樹種	数量 (m ³)	率 (%)
スギ	500	0.9
ヒノキ	29,862	53.4
カラマツ	5,805	10.4
木曾ヒノキ	1,193	2.1
天然サワラ	587	1.0
その他針葉樹	17,568	31.4
広葉樹	294	0.5
針広パルプ	147	0.3
計	55,956	100

森林・林業実践の舞台



GPSを用い現地の位置を地図上に示しました



赤沢自然休養林
管理棟付近

奥千本

赤沢自然休養林

日本における森林浴発祥の地



日本における森林浴発祥の地とされる。もともとは伊勢神宮などの御神木・建築用材を産出する森林地であり、近世は全国の城郭建設資材の供給地から尾張藩の厳しく管理する留山となる。明治以降皇室財産の御料林（のちに神宮備林）、戦後は1947年（昭和22年）林政統一により国有林に編入。永年に渡り木材を出荷していたが、外材の輸入増加にともなう林業の不振により、全国初の自然休養林として公園に変更する。



森林を構成する樹種



木曾ヒノキを中心とした針葉樹。ヒノキの他にサワラ、ネズコ（クロベ）、アスナロ（ヒバ）、コウヤマキなどが分布する。

樹齢は平均300年と推定されるが、これは江戸時代の文献や、倒木の年輪の調査を重ねて算定された。近年、この一帯のヒノキ林はアスナロ林への遷移が危惧されている。

森林散策ルートGPSを用いトラックを取得しなした。



© 2012 Cnes/Spot Image
© 2012 ZENRIN
Image © 2012 DigitalGlobe
Image © 2012 GeoEye

管理棟付近を出発

43°46.86' N 137° 38'18.83' E 標高 1261 m

高度 170 km

2011/8/27 9:29:45
9 11



画像取得日: 2011/10/27 2010

35° 43'47.05" N 137° 37'50.81" E 標高 118

高度 1.35 km



「奥千本」木曾ヒノキの天然林

神宮備林（じんぐうびりん）とは、かつて、皇室林野局（現宮内庁、林野庁）が、伊勢神宮の式年遷宮用のヒノキを確保、育成を目的とした林、および指定された地域である。現在の長野県木曾郡と岐阜県中津川市の阿寺山地にある。伊勢神宮の神宮林の備え（予備）という事から名づけられたという。現在は神宮備林という名ではなく、国有林の一部の扱いである。しかし、旧神宮備林、神宮備林、旧御料林、御料林などの名称で呼ばれている。

木曽森林管理署（管内）に勤め活躍する先輩



卒業生の皆さんの
頑張る姿は、とて
も新鮮に生徒に映
ったと思います。